



# 市議会報告

日本共産党

09年6月29日 第1092号  
【発行】  
日本共産党浦安市議団  
市役所内控入室(議会棟1階)  
☎&FAX (350)1243

平和大好き  
憲法9条は  
世界の宝



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
☎355-8526  
minamotonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
井原めぐみ

東野 2-8-13  
☎353-4730  
i\_megumi@d8.  
dion.ne.jp



市議会議員  
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203  
☎354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp



## 核兵器廃絶求める国への意見書、満場一致で採択 保守・公明、同趣旨の市民からの請願は否決！

### 道理のない請願否決理由

6月議会最終日の25日、浦安市議会は満場一致で「核兵器廃絶に向けた行動に関する意見書」(提出者：山崎次雄議員)を満場一致で採択しました。人類の悲願である核兵器廃絶に向け、最大限の努力を政府に求めるものです。

一方、22日の本会議でこの意見書と同趣旨の請願第6号「日本政府が核兵器廃絶へのイニシアティブを一層発揮することを求める意見書」(提出者：津留佐和子、請願紹介議員：平野芳子※敬称略)は否決されました。請願に反対したきらり・青山会、政風会、公明党の態度は理解に苦しみます。

オバマ米大統領の核兵器使用国としての反省を踏まえ、核廃絶をめざす姿勢を打ち出したプラハでの演説は、大きな波紋を呼んでいます。

この世界の歴史的变化を受け、意見書が可決されたことは浦安市議会にとっても歴史的な意義があります。

ところが、人類の悲願である核兵器廃絶をめぐり、この6月議会で繰り広げられた自民党系会派と公明党の態度は、見識を欠き、矛盾に満ちたものでした。

### 「核兵器廃絶」での党利党略は許されない

「核兵器廃絶」での党利党略は許されない

きらり・青山会、政風会、公明党の態度は理解に苦しみます。

### 意見書に賛成、請願に反対の会派・議員

きらり・青山会	辻田 明、深作 勇、末益隆志 宝 新、宮坂奈緒 山崎次雄※意見書提出者
政 風 会	小泉芳雄、西山幸男、西川嘉純 鈴木家康(※岡本善徳議員は議長のため採決には加わらず) ※平野芳子議員は請願紹介議員
公 明 党	秋葉 要、田村耕作

提出者の山崎議員が所属するきらり・青山会は請願に反対する理由として、「請願の意見書案文で非核地帯を北東アジアに限定としている点」「来年のNPT核拡散防止条約再検討会議を成功させるとしている点」「紹介議員が各会派、議員間での十分な討議の努力をしなかった点」を挙げています。

しかし請願の願意はまさに「世界から核兵器をなくすこと」を希求するものであり、現在の北朝鮮の核実験による廃絶への世界的流れに対する逆流をみれば、まずは日本も含む北東アジアから核の脅威をなくすことは、その第一歩となることは明らかです。NPT会議の成功も廃絶の上で重要な要素であり、この会議の成功を退けること自体、不当なものです。

「当初は各会派が了承していた」という平野議員の説明からも、反対理由には道理も根拠もありません。

平和の問題を党利党略に用いることは言語道断です。



